

新空港線

Shin-kūkōsen

国際都市東京 ↔ 羽田空港



新空港線（蒲蒲線）絵画コンクール最優秀賞作品

新空港線

つながり はばたけ

新空港線

（蒲蒲線）



大田区まちづくり推進部都市計画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田 5-13-14
TEL 03-5744-1303 FAX 03-5744-1530

(1703)

新空港線（蒲蒲線）整備

～ JR・東急蒲田駅と京急 蒲田駅をつなぐ鉄道路線～

所沢・川越・和光市へ

横浜へ

多摩川

渋谷・新宿・池袋へ

蒲田

新空港線

京急蒲田



約800mの分断（徒歩約10分）

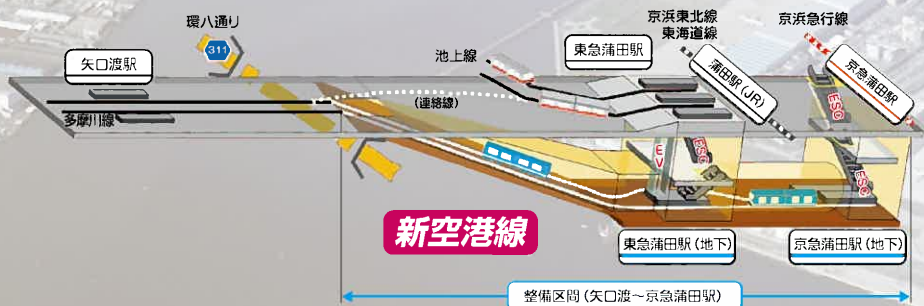
羽田空港

国土交通省 交通政策審議会答申第198号
（平成28年4月20日）で高い評価！

新空港線（蒲蒲線）は「矢口渡から京急蒲田までの事業計画の検討は進んでおり、事業化に向けて関係地方公共団体・鉄道事業者等において、費用負担のあり方等について合意形成を進めるべき」と高い評価を得ました。

新空港線の効果（大田区内）

- 区内の移動利便性の向上「鉄道を利用した東西交通が便利に！」
 - おたのまちづくりを推進「鉄道整備とあわせて沿線のまちづくりを推進！」
 - 地域の活性化に寄与「大田区における経済波及効果は約1,400億円！」※
- ※関西大学宮本勝浩名誉教授による算出。建設投資と消費支出の各経済波及効果を足した初年度の額。



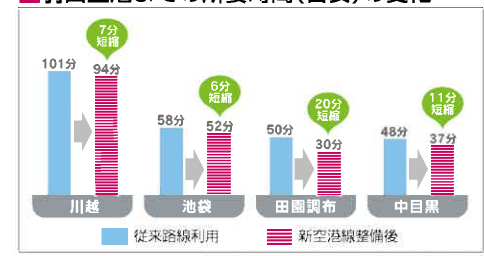
新空港線整備計画の概要

整備主体	第3セクター
運行主体	鉄道事業者
概算事業費	1,260億円（現時点で予想されるリスクを見込んでいます）
費用便益比（便益／費用）	○。○○>1.0 （開業後30年間の便益など）
※事業が社会に貢献する程度を分析する手法。1.0以上は社会的に意義のある事業とされる	

「都市鉄道等利便増進法」に基づき、整備主体と運行主体を分離する方法を想定しています。



■羽田空港までの所要時間(目安)の変化



※新空港線整備調査より(平成28年度実施)

羽田空港と都心間のアクセス強化

羽田空港を訪れる多くの人が都心へスムーズに移動することが可能となります。また、首都圏の広範囲からも羽田空港へのアクセスが向上します。

広がる首都圏の鉄道ネットワーク

- ① 東急東横線、東京メトロ副都心線、東武東上線、西武池袋線と相互直通運転が可能となり、羽田空港と渋谷・新宿・池袋などの副都心及び川越・所沢・和光市などの埼玉方面などの東京圏西北部を結ぶ広域的な鉄道ネットワークが形成されます。
- ② 国家戦略特区である東京・神奈川エリアなどから羽田空港への移動利便性が向上し、世界で一番ビジネスのしやすい環境づくりに貢献します。
- ③ 複数のルートが確保されることで、通勤や通学における既存路線の混雑緩和につながります。
- ④ 将来的には、(仮称)区部周辺部環状公共交通(エイトライナー及びメトロセブン)との接続を検討しており、新空港線が同路線整備の突破口ともなります。

防災機能を兼備する鉄道ネットワーク

東日本大震災の経験に加えて、近い将来、高い確率で首都直下地震の発生も予測されていることから、首都東京を支える都市機能の維持・継続の必要性が高まっています。迂回ルートとしての機能を担い、目的地までのルートを複数確保します。

既存ストックを有効活用した
首都東京を支える強靱な鉄道ネットワークの構築

- 多様な振替輸送手段
- 帰宅困難者対策
- 防災支援のルートの確保
- ビジネス継続支援

「国際都市東京」を世界一の都市に

国際競争を勝ち抜き、日本を「アジアの拠点」として維持・発展

- **世界の最先端をゆく都市インフラ**
24時間国際拠点空港化が進み、拡充される空港機能とそれを支えるインフラの強化
- **日本経済を牽引する国際都市**
国際戦略特区制度を活用し、国際ビジネス環境の整備を推進、日本企業の海外展開、外国企業の誘致など国際都市を実現
- **都市生活の利便性の向上**
駅及び駅周辺における質の高いまちづくりの誘導と、鉄道ネットワークの拡充による市民生活の向上
- **世界中の人をひき付ける観光都市**
来訪者の移動快適性を向上させ、安心して観光を楽しめる環境の整備



渋谷



池袋



和光市・桜並木

「新空港線」が日本の空の玄関・羽田空港と飛躍する東京の「未来」と「夢」をつなぎます。

人、モノの流動化によるまちづくりの機運の醸成

世界各国から訪れる人々のシームレスな移動による国際化の進展

蒲田駅及び京急蒲田駅周辺のまちづくり

羽田空港に一番近いまち、おもてなし・にぎわい拠点「蒲田」



蒲田駅東口駅前広場(整備イメージ)

京急蒲田駅

羽田空港跡地第1ゾーンにおいて「新産業創造・発信拠点」を形成

平成29年5月に第一期事業者予定者が決定(予定)、平成32年のまちづくりの概成を目指す



先端産業事業(産業交流施設)

グローバルな展開を目指す先端産業分野の企業を集積させて、各種のイノベーションを創出する。

文化産業事業(クールジャパン発進施設)

クールジャパンなどの我が国の魅力を国内外に効果的に発信し、関連する産業を創出する。



羽田空港